

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	小中学校環境整備事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計				担当課	教育総務課				
	事業期間	平成26年度以前		～	平成30年度まで		担当係	施設係			
	基本施策・展開方向	3	教育・子育て	12	学校教育	1	安全で快適な教育環境を整備します				
	予算区分	款	10	項	1	目	2	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的	何・誰を対象に	児童・生徒や教職員								
		どのような状態にするのか	状態の悪い学校用具などを補修したり、新たに製作することにより、児童・生徒の学習の妨げにならないよう、学習環境を良好に保つようにする。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>○平成28年度実施内容 良好な学習環境を確保するため、小中学校(25校)に、作業員を8ヶ月間(34週)、1班(2人)で巡回し、棚・合唱台・ざら板等の作成、施設の小規模な修理、体育用具等の補修や側溝等の清掃を行った。 (直接経費の内訳) 委託料 5,294,970円</p> <p>(平成28年度直接経費の内訳) 委託料 5,294,970円</p> <p>(平成29年度直接経費の内訳) 委託料 5,784,000円</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	5,295	5,295	5,295	5,784	
		正職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.05	0.05
			人件費	千円	281	281	281	281
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	5,576	5,576	5,576	6,065		
	対前年比	%		100.0	100.0	108.7		
財源	一般財源	千円	5,576	5,576	5,576	6,065		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	学校等に巡回する作業員の1日当たりの人数	人	目標	2	2	2
実績				2	2	2	
			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	年間に巡回した学校等の延べ回数	回	目標	57	57	57	57
実績			57	57	57		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	作業員2名の作業により、棚、ざら板等の作成や、ウッドデッキや体育用具の補修、門扉の塗装など各現場の要望にきめ細かく柔軟に対応できた。				
		事業実施における課題	限られた日数のため、多くの学校に対して巡回し環境整備することが難しい。				
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	小中学校(25校)に、作業員を8ヶ月間(34週)、1班(2人)で巡回し、棚・合唱台・ざら板等の作成、施設の小修理、体育用具等の補修や側溝等の清掃など、学校の要望に応じた作業を行った。				
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小				
削減額・削減対象		事務事業評価による額	861	千円	予算区分	13	節
判定理由・削減内容		学校の要望する作業を実施することにより、良好な学習環境が保たれており、一定の成果は出ているが、学校の要望する作業内容を精査し、学校で対応可能な作業は学校で行ってもらうこととし、13節委託料を861千円削減する。					
	30年度以降の実施内容	小中学校環境整備事業で行う作業のうち、学校用具の作成、補修など各学校の用務員又は校務主任の教諭では対応できないものがあるため、学校の要望に応じた作業を、引き続き実施する。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。